

配布物選定リスト

【日本酒】

・今代司酒造

新潟におけるキラーコンテンツである日本酒を配ることで、新潟を強く印象付けることが可能であると考えます。また、今代司酒造は 2026 年度 ASPAC 新潟大会開催時には、必ず観光ルートになる酒蔵であることから、新潟の魅力として強く発信ができます。

【おにぎり】

カンボジアは主食が米であり、新潟の魅力を効果的に発信する配布物として適切であると考えましたが、生米を持ち込むこと、現地で炊く必要があることが懸念であり、現実的には難しいと判断しました。

【その他】

- ・おもち、餅つき
- ・がちゃがちゃ
- ・餃子
- ・おりがみ
- ・ぽっぽ焼、蒸気パン
- ・ラーメン
- ・カレー
- ・寿司

【結論】

日本酒はカンボジアの持ち込み制限が懸念ではありましたが、カンボジア大使館に問い合わせたところ、アルコールの持ち込みは禁止されておらず、1 人当たり 2L 未満であれば免税との返答がありました。

以上のことから、配布物を日本酒として選定しました。

現地では高級和食ブームであることも加えて、日本食レストランが 250 店舗以上あり、人口 1 人当たりの日本食レストランの数は東南アジアで最も多く、和食は高い人気があるようです。それらの流れから、2024 年 2 月 23 日～24 日に高級日本酒のプロモーションイベントが開催されるほど日本酒のニーズも高まっていることが分かります。

[カンボジア初のハイエンド向け日本酒プロモーションイベント「SAKE OPEN」を開催！
高級和食ブームのカンボジアに高級日本酒マーケットを確立！ | 株式会社 蔵楽のプレスリリース \(prtimes.jp\)](#)